

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第66号 令和3(2021)年1月15日発行



弁当販売の中止について（連絡）

当分の間、センター（研修時等）における弁当販売を行いません。御了承願います。

教育研究発表大会の申込み締切りが迫っています

1月29日（金）、30日（土）に開催する令和2（2020）年度栃木県教育研究発表大会の申込みは、1月22日（金）までとなっております。2日間、16の部会において県内の教育実践研究の成果等が発表されます。今回は、その中からいくつかの部会を紹介します。また、新型コロナウイルス感染症拡大に鑑み、全てオンライン（Web会議ソフト「Zoom」配信）による参加に変更しました。皆様の御参加をお待ちしております。

生涯学習部会（1月29日午前1部）

部会テーマ「高校生の地域活動への取組とその推進について」

高等学校と地域が連携した実践事例を通して、社会に参画する力を身に付けた高校生を育成するために必要な教育とは何か、また今後の地域活動を推進するポイントを考えます。

児童・生徒指導部会（1月29日午後2部）

部会テーマ「子どもが行きたくなる学校
～一人一人を大切に～」

いじめ、不登校などの未然防止には、学校が子どもにとって魅力的な場所であることが不可欠です。子どもが安心できる環境をつくったり、一人一人についての理解をより深めたりするためにはどのような取組をしていけばよいのかを考えます。

校内研修部会（1月30日午後2～3部）

部会テーマ「教員が主体的・積極的に取り組み、同僚性を高める校内研修の在り方」

宇都宮大学教職大学院では、教育実践プロジェクト（長期実習）に取り組んでいます。本部会では、実習校の課題を踏まえた授業実践等の取組を基に、教師が内発的改善力を高め、同僚性や授業力を向上させていくプロセスについて考えます。

情報教育部会（1月30日午後3部）

部会テーマ「情報教育最新事情」

オンライン教育の必要性が急激に高まったり、小学校でプログラミング教育が全面实施されたりするなど、学校における情報教育やICT活用の重要性が増しています。本部会では、先進的な取組から、今後の学校における情報教育の取組について考えます。

注目！

特別にお招きした講師を紹介します

東京家政大学 教授 太田 洋 先生

外国語教育部会（小・中・高）（1月29日午後3部）

講話「各校種間を意識した外国語教育」

小中高の繋がりを意識しながら、各校種での授業づくりをどのように行えばよいのか、学習指導要領のキーワード「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力」、「学びに向かう力」の視点から具体的に考えていきます。

桐蔭横浜大学 副学長 森 朋子 先生

高等学校学習指導部会（1月30日午前1部）

講話「深い学びを誘う授業とは

～『わかったつもり』を『わかった』へ～」

「主体的・対話的で深い学び」が求められる日々の授業において、どのような授業デザインの効果が高いのか。実践から得られた、深い理解を誘う4つのコツを実際のデータを用いながら説明します。

※ 総合的な探究の時間部会（1月30日午後2部）でも、森 朋子 先生の指導助言と講話があります。

※各部会の詳細については、以下のWebサイトから御確認ください。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/kensyu/r02-kenkyu/>

参加申込方法

- ① 栃木県総合教育センターの Web サイトにアクセス
- ② 「令和2(2020)年栃木県教育研究発表大会の参加申込はこちら」をクリック
- ③  をクリック
- ④ 入力フォームに必要事項を入力し、参加希望の部会を選択

※来所による参加申込は中止いたしました

※申込の際にメールアドレスを入力してください。確認メールが自動返信されます。
大会が近づきましたら、参加に必要な情報をメールにてお知らせします。

※職場等でまとめて申し込むことはできません。各自でお申し込みください。

令和3年1月22日(金)までにお申し込みください。なお、PC等の環境は各自御用意ください。(Web 会議ソフト「Zoom」配信)



【問合せ先】 栃木県教育研究発表大会実行委員会事務局（研究調査部 TEL 028-665-7204）

図書資料室に新しい本が入りました！

図書資料室では、教育に関する専門図書や県内外の研究実践等の資料を豊富に収集しています。今年度も「生徒も教師も楽しめる問いづくりの実践」「本当は怖い小学1年生」など、新しい本が入りました。購入した本のリストは、総合教育センターのWebサイト（下のURL）から御覧いただけます。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tosyo/index.htm>

教育雑誌も約40種類そろえており、最新の教育事情に触れることができます。また、教科書も各社そろっていますので、異なる出版社の教科書を見比べて教材研究をすることもできます（教科書は閲覧のみ）。

図書資料や教育雑誌は、webサイト「とちぎレインボーネット」(右のQRコード)から検索できます。利用者カードを作成すれば、1人10冊まで、2週間以内で借りられますので、研修の合間や研修終了後などに、ぜひ足をお運びください。



新着図書の一部を紹介します



書名	著者名（発行所）	内容
資質・能力を育成する学習評価 カリキュラム・マネジメントを通して	田中 保樹 三藤 敏樹 高木 展郎 (東洋館出版社)	平成29・30年版学習指導要領に対応した評価の全てを網羅する一冊。資質・能力を育成するために、カリキュラム・マネジメントで指導と評価の一体化を実現。理論と実践の両面から、評価の在り方を解き明かす。
セリフでわかる 保護者の安心・信頼 につながる対応術	河村 茂雄 (合同出版)	子どもがケガした、ケンカした。苦情を受けた…。こんな時、保護者に、どのように伝えればいいのか？保護者の不安を受け止め、安心・信頼してもらえる、具体的対応方法をセリフで解説。
学校は、何をするとところか？	苫野 一徳 菊池 省三 (中村堂)	教育界話題の二人による「学校教育をそもそもから考える」対談が実現。哲学の世界と教室の現場から発信されるそれぞれの考えが、すてきなハーモニーを奏でる。

【問合せ先】 生涯学習部 (TEL 028-665-7206)